

緑化通信

2021
1月25日
(年7回25日発行)
第484号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL : <https://www.ueki.or.jp/>
E-mail : honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

令和三年度 (一社)日本植木協会 新年のご挨拶・東北ブロック



か不安に駆られながらも毎日と思われませんが、全国で皆が同じ感情を持ち行動を制限しながら生活することが、ご自身の生活地域での新型コロナウイルス感染症拡大防止のための一番の方法だと思います。

一昨年前には二度の台風により九州・西日本・東日本と日本の半分は大変な被害を受け復旧半ばで在り、昨年の東京オリンピック・パラリンピック開催は明るい話題でしたが聖火リレースタートと同時に新型コロナウイルス感染症の世界パンデミックにより延期する事となり、国の経済支援策GoToトラベルも良くなり掛けた所で中止、コロナウイルス感染症には暮れも正月も無くその猛威は留まることを知りません。

企業の中間決算経営収支はいずれも落ち込み、旅客トラベル、旅館ホテル、飲食業ととてもない痛手をこらえており、その波及は全業種に影響し年度末にかけて事業の廃業や倒産リストラと暗い情報が多くなると予想されます。

私たち緑化を支える植木業界も例外ではなく、社会全体が今は新規事業や設備投資の時期ではないと考えると事業運営には大変厳しい状況です。

新年あけましておめでとうございます。本年も協会員皆様にとって良い年になります様心よりご祈念申し上げます。

少ないチャンスを見逃さずコツコツと 北海道・東北ブロック長 安瀬 信一 (舟引植産(福島県))

当初は湿度が高くなる夏頃には減少傾向になるといわれており、これまでの拡散はだれもが想定外であったと感じます。

全国の会員の皆様も各県、各自自治体ごとの環境は異なるかもしれませんが知人の感染や家族の感染など多くの方が体験されていると察するところであり、自身も罹患しなければ良い

い年になる事は違い在りません。しかし私たちが扱う植木は一年や二年で出来るが

本年の取り組みとして

秋田県支部長 菅原 勝利 北日本管与(株)

秋田県支部は2社しかありませんので僭越ながら弊社の活動状況を紹介いたします。昨年はコロナの影響によって中国からのバイヤー

別給付金の十万円はデータではタンス預金で、コロナウイルス感染症が収まれば必ず使いたくなるはずで、私たちが生産する樹木も大量生産から少量多品種へとスタイルを変えた時と同じように計画的に生産を行い、冒險を控え堅実に経営する事が相互関係を持つ取引先に対しても一番良いことなのかもしれません。

いずれにしても現在の環境を受け入れ順応し、少ないチャンスを見逃さずコツコツと積み重ねることが商機につながる信じ、臆することなく進もうではありませんか。

最後に日本植木協会の発展と会員皆様のご多幸を祈念申し上げ挨拶いたします。

年でしたが、今年も中東に初めて出荷するという明るいニュースも出てきました。

日本の植木を海外に広めるために、年々厳しくなる輸出条件、例えば土付き禁止に対しては根洗い等、検査を無事に通過できるように技術を磨き、知識を向上させていかなければならないと思っております。

の来日に制限がかり、思うように売り込みができませんでしたが、写真での材検のやり取りでやっとな動かせた状態でした。更に追い打ちをかけるように暮れからの大雪で掘り採りが大変でしたが、自社ヤード内でホイストクレーンのフル活用で、やっと出荷をスケジュール通りにこなすことができました。弊社にとって暗いニュースばかりの昨



コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

主な生産物

- クロマツ コニファー類 ヤシ類
- カン類 クスノキ タブノキ
- モチノキ ウバメガシ オリーブ
- カクレミノ クロガネモチ
- サンゴジュ シマトネリコ
- マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
- レッドロビン オウゴンマサキ
- カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
- シャリンバイ ツツジ類 トベラ
- ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
- サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
<http://www.setoen.com/> E-mail : setouchi@setoen.com

「東日本大震災」の復興について

岩手県

足澤 匡
小岩井農牧(株)

2011年3月11日、東北地方から関東地方一帯を襲った「東日本大震災」は、多くの死者と深く大きな爪跡を残しました。あれからもうすぐ10年、復興が進む中、私たち小岩井農牧(株)は確かな技術で被災地の復興を応援しています。

2014年3月には、環境省第一号の「三陸復興国立公園震災メモリアルパーク」中の浜(宮古市)を竣工。その後、釜石市や宮古市などで復興事業のお手伝いを行ってきました。

現在当社が盛んに工事しているのは陸前高田市です。同市は、風光明媚な高田松原で有名でしたが、津波で被災した「奇跡の一本松」が皮肉にも脚光を浴びました。同市は、周辺の山々を削り、ベルトコンベアで土を移動させ、高さ11〜12

mの盛土上に街づくりを進める事にしたのです。数年前からUR都市機構に委託し、清水建設他JVが街地整備事業を行なっています。その下請けとして当社が公園や緑地を作っています。2017年10月には、市街地中心部に「まちなか広場」や十数ヶ所公園などを整備。現在は市街地を流れる川原川沿いの公園を造成し、桜などの木をたくさん植えています。

海岸沿いには、国土交通省の「高田松原津波復興祈念公園」が整備中ですが、当社が受注する事ができました。本公園は、「奇跡の一本松」、被災した「道の駅タピック45」を遺構とし、新たに「道の駅高田松原」東日本大震災津波伝承館が中心の施設となります。2019年9月に高

田宮妃殿下をお招きしてオープン式典が挙行されました。この式典に合わせて、施設周辺の植栽と「献花の場」の献花台や舗装など、さらに「海を望む場」までの園路・階段などを整備しています。

「海を望む場」から「道の駅高田松原」、「東日本大震災津波伝承館」を望む。他の区域は「高田松原津波復興祈念公園」として現在整備中です。その日の海は、何もなかったように静かに佇んでいました…合掌。



環境省第一号「三陸復興国立公園震災メモリアルパーク」中の浜。キャンプ場に高さ15mの津波が…。被災した炊事場、WCを遺構として公園整備しました。



陸前高田市の中心地区に整備した「まちなか広場」。公園の真ん中には、子供たちに大人気のコンベンション遊具があります。



「海を望む場」から「道の駅高田松原」、「東日本大震災津波伝承館」を望む。他の区域は「高田松原津波復興祈念公園」として現在整備中です。その日の海は、何もなかったように静かに佇んでいました…合掌。



国土交通省「高田松原津波復興祈念公園」の「切り通し空間」。ケヤキの向こうに献花台があり、さらに向こうには「海を望む場」を整備しました。

各地で開催された総会・研修会

昨年度はコロナウイルス感染症拡大により、総会や研修が実施できないブロックが多かった中、ブロックを報告します。

中部ブロック

中部ブロック現状報告

ブロック長 竹中昭雄
(岐阜種苗(株)・岐阜県)

日頃よりブロック事業へ一年となりました。感染防止のご協力、感謝申し上げます。昨年とは異なり、卒業・入学、冠婚葬祭や各種イベントの延期や中止、飲食店・生活スタイルが変化した

中国・四国ブロック

令和2年度 中国・四国ブロック総会

ブロック長 森本泰好
(徳島県植物市場・徳島県)

11月6日(金)岡山県岡山市アークホテル岡山の会議室で午後2時より、出席者ブロック会員15名、本部より2名、計17名にて行いました。総会に入る前に、昨年4月亡くなった(株)辰巳園の加藤一巳様に全員で黙とうをし、(株)田宮園芸の田宮眞二様の司会で総会が始まりました。ブロック長の



森本泰好ブロック長



阪上和彦副会長

次回の(一社)日本植木協会通常総会は仙台市で行なわれることなる予定ですが、もし時間に余裕がありましたら、陸前高田市まで足を運びたいです。新しい街や公園を見学したいと思っています。小岩井農牧(株)は、確かな技術で被災地の復興を応援していますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

令和2年度のブロック活動は、新型コロナウイルス感染症に関する感染予防対策および拡散防止の考え方を重視し、研修会等を開催する事が出来ませんでした。また通常総会は隔年で開催しており今回は書面による開催となっております。現在のブロック会員数は70社園です。

まだまだ厳しい状況ではありますが、会員の皆様と健康と安全を第一に活動していきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

講演を(株)半田植物園 代表取締役 半田茂富 様「持続可能な植木生産」のテーマで1時間15分話していただきました。懇親会が午後6時から8



令和2年度中国・四国 総会



名古屋城



令和2年8月5日(水)に新型コロナウイルス対策として、リモート会議研修を行いました。Zoom参加可能として、使い方のわからない方視察をしました。

へ、四国地方は(株)半田植物園の指導のもと、それぞれリモート会議研修方法を研修した。その後、各農場視察をしました。

九州ブロック

九州ブロック通常総会

九州ブロック長 (有)船橋緑化 (鹿児島県)

船橋 修 一

令和2年度九州ブロック通常総会は令和2年11月20日鹿児島県出水市の「鶴丸会館」において会員83名のうち出席者32名、書面議決者16名で開催しました。今年度の総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出席による議決と書面による議決で行いました。(委任状提出は無し) また、従来の来賓の方のご出席、記念講演、懇親会は省き、穴倉孝行会長と二口事務局長にはリモートによる参加をお願いしました。

総会は鹿児島県支部長玉田信也氏の司会で久光副ブロック長の開会の辞のあと、船橋ブロック長の挨拶、穴倉会長の挨拶をリモートで行い議案の審議に入りました。審議に先立ち鹿児島県支部三和物産(株)緑化事業部三宅氏を満場一致で議長に選出し、第1号議案 令和元年度事業報告 第2号議案 令和元年度決算報告及び監査報告 第3号議案 令和2年度事業計画(案) 第4号議案 令和2年度収支予算(案) 第5号議案



支予算(案) 第5号議案その他 についてそれぞれ船橋ブロック長、事務局西郷純一氏が議案説明を行い、審議が行われたあと満場一致ですべての議案が承認されました。

議案の審議の後、事務局西郷純一氏より1名の退会者の報告があり、協会本部報告を二口事務局長にお願いしコロナ禍における本部の現状などを報告していただきました。また、各委員会、青年部報告は総会資料記載に重きを置いて時間短縮にて行い、次年度開催地を大分県とし、古閑副ブロック長の閉会の辞の後散会しました。

今年度はコロナ禍において、ブロックの大きな行事である研修会も開催を中止し、総会も「密」を避け、意見交換会もできずこのような簡素な総会になってしまいました。来年度こそはコロナが収束し通常のブロック活動ができるよう希望します。

政府もCO₂削減に向け取り組むと発表され、環境への対策が急務の中、樹木業界を取り巻く環境も新たな展開になることと思えます。いち早く情報をキャッチし、それを分析し、共有し、どのような形で環境問題に貢献できるのか? (一社)日本植木協会の今後の役割について等、早く皆様と意見交換できる日が来ることを待ち望んでいます。コロナの感染拡大が続く中、皆様どうぞお身体ご自愛ください。

Instagramを使用して 緑の力を!



159 投稿

1,570 フォロワー

1,163 フォロー中

takumi(南阿蘇緑化)
デザイナー
白石 匠(南阿蘇緑化)29歳
熊本県阿蘇で植木生産業を営んでいます 🌲
日本各地に緑を届けられるように
大好きな樹木に囲まれて日々楽しんで... 続きを読む
www.mar-green.com/sub8.html

おすすめ庭木



モミジ編

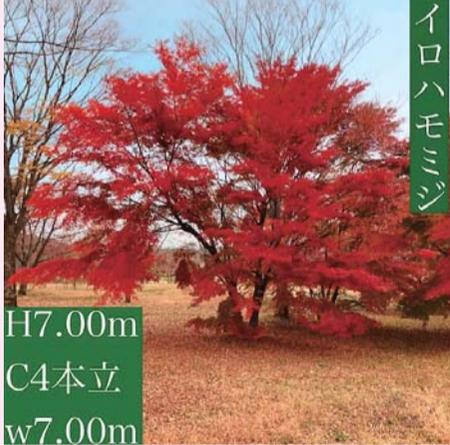
H7.00m
C4本立
w7.00m

おすすめ庭木



シラキ編

おすすめ庭木



イロハモミジ

皆様あけましておめでとうございます。熊本県支部の(有)南阿蘇緑化 白石 匠と申します。私は、InstagramとInstagramツールを利用して会社の宣伝、樹木の紹介、植木生産の仕事の紹介、植木のメリットなどを投稿しております。

Instagramとは、何か?
Instagramとは、一言でいうと写真・動画など視覚で楽しめるコンテンツが軸になったSNSです。現在日本での利用者数は、3300万人の情報収集ツールとして幅広い世代に使われているSNSになりました。

私がInstagramの投稿を始めた理由は
自社の樹木をもっと宣伝したいという考えと植木生産業の認知度を上げたいという思いから3年前に植木屋としての投稿をスタートしました。スタートした当初は、全然反響がなく気持ちが悪げな時期もありましたが、試行錯誤しながら現在までコツコツと続けてきました。

Instagramの投稿を始めた理由
基本的には樹木の写真・樹木の情報・植木生産業の仕事内容など投稿しています。植木に特化した専門的なページ作りを心掛けています。植木の情報を求めている方は、世間にも多くおられます。植木の情報を求められている方々のニーズを理解し自分なりに解釈をして投稿をしております。Instagramに載せる樹木には、画像に樹木の名前や規格を載せて、一目で見分かりやすい画像にして投稿します。投稿した樹木の説明文も書きます。分かりやすい画像、分かりやすい文章、お役立ち情報、この3点を意識して投稿をしています。

Instagramの投稿を始めた理由
またInstagramは自分で投稿することだけが楽しみではありません。植木の投稿をしているのは自分だけではありません。全国多くの植木屋さんもInstagramをやっており各社園さんのやり方・考え方を投稿されており私もその投稿を見て勉強させてもらっています。Instagramで仕入れた情報で実際に仕事に役立っている事がたくさんあります。いやらしい話Instagramは無料で自社の宣伝、植木の宣伝になり利益を生むので損は絶対ないです(笑) 繋がる事は無かったと思えます。繋がる事により多くの方に(有)南阿蘇緑化を知ってもらえ良かったなと思います。

緑は日本の宝です。緑の力は計り知れないです!
私たち植木屋は、日本の宝を生み出している素晴らしい職業です。しかし世間では、私たち植木屋の認知度は低く、植木の価値も下がっているように感じます。この現状が本当に悔しく思います。

植木屋を植える人が減っているのも管理が大変、病害虫の被害があるなどのデメリットばかりが先行してしまっています。この現状を変えていくには、私たち植木屋が緑の良さをもっと発信していく事が必要になってきているのではないかと思います。

デメリット以上に緑にはメリットが沢山ありますよね?

植木協会の皆様なら分かっていると思います。その情報を是非発信していきたいです!

植木屋界をもっと盛り上げていきましょう!

植木屋界の未来を考え、一人一人が動いていかないと植木屋界は、今後衰退の一途をたどるのではないかと危惧しております。InstagramやYouTube・Twitter・フェイスブックLINEなどSNSは無料で利用出来る手軽に投稿出来ます。是非利用してみてください!

一人一人の「動」が大きなパワーとなり明るい植木業界になる事を夢見ています。植木業界の発展のために私も一層仕事を頑張りたいと思います。最後になりますがこのような機会を与えてもらいありがとうございます。

文章にするのは、なかなか難しく読みにくい部分があると思いますが、ご了承ください。





左から入社2年目の田中美羽さん、4年目の茅野真帆さん、3年目の埴谷大典さん

㈱共楽園緑化土木は、大正14年創業、4代目社長は榎原吉明さん。最近では女性従業員も積極的に受け入れている。協会の緑育出前授業も近隣の小学校で毎年行っており、緑育委員会設立メンバーの一人。地元でも青少年相談員をはじめ多くの役員も受け持っている週末は地元行事で大忙し。そんな榎原さんと、会社の若手ホープ3人にお話を伺いました。



毎年行っている協会の緑育出前授業の手作り冊子

まずは、社長榎原吉明さんに3人の仕事についてお聞きしました。埴谷大典さんと田中美羽さんは、全国有数の寺院である成田山新勝寺や隣接する成田山公園の草刈りから剪定、改修工事までの年間管理に携わっています。敷地が広く最初に手入れした所は、最後に手入れした頃には、芽が出てきてしまい追いかけてこなるそうです。茅野真帆さんは、民間の植栽工事をはじめ、管理工事など多くの現場を担当し、大活躍しているとのこと。

共楽園さんに就職されたきっかけは？

埴谷さん：「高校で出会った妻が緑地計画科に在籍し、妻が実家の造園業の跡を継ぐということで、自分も勉強を始めました。平日は会社で週末は家で修業中ですが、今はとても楽しいです。特に松の剪定が魅力的です。」という。
どういったところが魅力的ですか？と聞くと、「松の剪定を見ていると、始めはもしまもしまで幹も見えないんですが、鋏を入れていくと、太陽の光が差し込んできて幹が見えてきて、それが何とも言えず綺麗なんです。ああ、自分もこんな風に来たらいいな…」と清々しく目をキラキラさせて答えてくれました。すると、榎原さんがすかさず、「志がすごい！さすが元生徒会長！」と、拍手の一幕でした。
茅野さん：「私は学校の先生から熱心に勧められて、女性従業員が居ないことは事前に聞いていて不安でしたが面接を受けました。その時、榎原社長が何かと気を遣ってくれたので、就職しても大丈夫かな？と感じ決断しました。また、祖父がシルバー人材センターで樹木の剪定の仕事をしていて、その姿を見て興味があったことも決め手となりました。」という。
田中さん：「私は先輩の茅野さんと同じ出身校だったので、学校の先生から『女性先輩がいるから大丈夫だよ』と勧められたことが大きいです。決断の気持ち全然違いました。また、緑地科で勉強していたので、その延長の仕事をしたかったです」という。

女性従業員を受け入れることに会社としては、どのような点に留意しましたか？

榎原さん：「実は、私は強要したつもりはないのですが、現在大学生の娘は、いずれ私の跡を継ぐと決心してくれたので、今からその環境づくりをしようと思いました。そして初めて採用したのが茅野です。ただ、正直大変でした。今まで男所帯だったので、女性と一緒に働くことができるのか？ってまずそこからでした。更衣室やトイレ等の設備から戸惑いながら少しずつ改善し、お互い手探りでした。周りに同年代もいなくて大変だったと思います。茅野は頑張り屋さんなんです。それがあってから、次の女性後輩が入り易かった。多分、俺には見えない苦労も沢山あったと思います」と、榎原さんの思いやりの一面が垣間見れました。

女性従業員を迎えてどう変わりましたか？

榎原さん：「現場での印象が全然違います。女性がいると現場の人たちが、あからさまに優しいですね。また、機械化も進んで昔より男性と女性の線引きがなくなってきています。女性だから出来ないという固定観念を除けば、大半の仕事は出来ると思います。逆に言えば、女性のきめ細やかな仕事ぶりや感性は、男性にはマネしたくても出来ません。目の行き所や観点が違うのでしょう。仕上がりが違ってきてプラスだと思います。最初の環境づくりができれば、女性の活躍はどんどんできる業種だと思います」という。

シリーズ 社園さん紹介 No.4 (株)共楽園緑化土木 (千葉県東金市)

女性のお2人に、仕事でやりがい、楽しいことを聞いてみました。

茅野さん：個人のお庭の手入れの際、木が伸びていて、剪定後、すごくきれいになったお庭を見ると達成感があって嬉しく思います。
田中さん：正直、覚えるので精一杯です。この間も埴谷さんがチェーンソーで仕事している姿を見て、自分も免許もってれば役に立てるのに…と。まだ何が楽しいかもわからない。頑張ろうという気持ちで一杯一杯なんです。



3人ともカラーが違う。榎原さんが各々の仕事ぶりを教えてくださいました。

榎原さん：「田中のいい所は、いつもパタパタ走ってて、それを見ていると一生懸命なのがわかります。徐々に楽しくなってこれからは急成長です。茅野は、一人で黙々と昔の職人さんタイプで、機械も運転も何でもどンドンやっていく積極派。埴谷は、背負っている実家の造園屋があるので、とても責任感が強いです。とにかく何でもやります。だから、しんどい仕事でも率先してやる姿勢がいいんです」という。見守っていることがよくわかりました。

皆さん、休日など普段は何をされていますか？

茅野さん：「普段は本を読んでいることが多いです」と話した時に、高校ではインターハイにも出るような射撃クラブで活躍されてたと榎原さんが説明してくれました。静と動を持ち合わせている茅野さん。
田中さん：「趣味がないんです。週末は友達とショッピングや映画や美味しいもの食べて…気が付いたら夜です」と、今風女子でした。
埴谷さん：「俺は父親なので、平日は帰ると子どもが寝ているので、週末はおもいっきり子どもと遊んでいます」と。話を聞くとオムツ替えもミルクも飲ますことの出来るイクメンでした。
榎原さん：「青少年相談員や子どもたちの育成的な役を多く持っているのも週末は大忙し。2年前までは東金市会長をしていて、日本サッカー協会に飛び込みで『夢先生』依頼を直談判して今も継続しています」という。
※『夢先生』とは、日本サッカー協会(JFA)が行っている社会貢献活動で小中学校向けのスポーツ選手派遣事業。

最後に一人前にする教育の難しさを榎原さんが語ってくれました。
榎原さん：「昔僕たちの頃は、親方から『俺の邪魔をするな。俺はお前の邪魔はしないから。俺を止めるな!』と言われました。今思うと名文句ですね。上手くて早い職人がやった方がその場のためにはいいが、将来的にはよくない。会社の最大限100%の形でお客様に納めなくてはいけないから、どのタイミングで教えなくてはいいかが難しいです。今は昔と違い、先輩が手取り足取りとまではいかないが、細かく指導、教育を行っています」という。

写真撮影の時も「若手を前端的に撮影して！」と優しい社長の榎原吉明さん。
普段も直接指導すると本人たちが委縮してしまうので、先輩に任せてあえて遠くから見守っているという。
(取材当日は朝から夕方までお付き合いくださり、この場をお借りしてお礼申し上げます)



社長の榎原吉明さん

特集 植木類に加害する外来病害虫・東京周辺の事例②

プラムポックスウイルス
(ウメ輪紋ウイルス・PPV)



樹木医 小林 明

●特徴など
頭文字からPPVとも呼ばれるウイルスで、ウメやアンズ、モモ、ユスラウメなどのサクランボ属や洋種のイボタなどに感染し、葉や果実に斑点を発生させます。ウメの場合は葉や実に輪紋状の斑点が、また、アンズやモモの場合は、葉脈に沿って淡い緑色の部分が生じます。葉の場合、症状が分かりやすいのは、新葉が開ききるころから梅雨のころです。



5月頃、展葉直後の新葉に脈に沿った不正形で不明瞭な退緑斑を生じる。発症は新葉のみで、すぐに症状はわからなくなる。

写真はいずれも東京都農林総合研究センター提供



ウメ：葉に周囲明瞭な黄色の輪紋。脈に沿った退緑斑などを生じ、病徴は6~7月中旬頃もっとも顕著に現れる。

このウイルスに対して農林水産省では、植物防疫法に基づいて感染した樹木や感染するおそれのある樹木の移動規制を行うとともに、感染された樹木の伐採を行う緊急防除を実施しています。詳しくは同省のHPをご覧ください。

なお、見分けについては、うどんこ病や白粉病など症状が似た病気や生理障害があるため、最寄りの病害虫防除所など農業試験場などの農業系の行政機関に相談するとよいでしょう。

●伝染方法と防除

PPVはほかのウイルスと同様に自ら移動できず、アブラムシによって運ばれます。また、PPVに感染した苗・穂木を含む樹木の移動や感染木から穂木を採ることによる樹木伝播も感染の拡大を招きます。このため、防除はアブラムシの駆除と感染木の移動の禁止、さらには感染木を伐採・伐根してそれらを放置せずに焼却や埋設するなど適切に処分することが必要です。

●駆除後の植栽

感染した木やその恐れのあるウメなどを伐採する措置を行い、3年間PPVがなくなつたことを国の機関に認められると再植栽ができます。そのときに植える木は、PPVの発生がない地域から持ち込むことが必須です。

世界で初めて確認されたのは、ブルガリアで1915年のことです。このウイルスに感染すると、果実の商品価値が失われたり成熟前に落果したりするなどの被害を受けます。日本国内では平成21(2009)年に東京都青梅市内で初めて確認されました。以後、茨城、埼玉、愛知、岐阜県などで感染が確認されています。

ウイルスというと、昨年以來、大きな社会問題となっている新型コロナウイルスを思い浮かべますが、このウイルスを含め植物ウイルスは、ヒトや動物には感染しません。

特集 竹はポピュラー、なれど不思議な植物 ⑭
小・中学校等への植竹で選ばれる竹種は？
渡邊 政 俊



◆プロフィール
1933年 富山県生まれ。京都外国語短期大学卒。1951~1991年京都大学農学部附属演習林文部技官。この間、故上田弘一郎京大名誉教授の研究を手伝う。1986年九州大学農学博士。1992~2002年(隔年)高知大学農学部非常勤講師。1993年以降林野庁の特用林産ビジョン検討委員会委員など竹・タケノコ関連事業委員を歴任。元国際協力機構(JICA)専門家(1970~72年タイ、1994、95、97年インドネシア、1996年チリ)。現在、竹文化振興協会専門員、京都市洛西竹林公園専門員。

筆者が所属する竹文化振興協会では小・中学校に生きた竹類を植竹寄贈する「竹一株植えつけ運動」を実施しており、これまでに全国302校に寄贈してきた。この活動は子ども達が竹を観察し、竹に親しみ、竹のようにすくすくと成長することを目的としている。そこで、本稿ではこの活動で選ばれる竹種を紹介したい。

まず、学校が希望する竹は、校庭に広がらない竹、教材に使える竹、珍しい竹、美しい竹、などであり、当会としては望まれた竹種の植え付け苗が入手可能かどうか条件となる。

そもそも、竹類の生育型には一般に暖温帯に自生する散生型(バラ立ち型)と熱帯を原産とする叢生型(株立ち型)がある。たとえば、造園で好まれる大径種で黄金色かつ緑のストライプのあるキンメイモウソウは散生型であり(写真1左)、スホウチクも同様に特徴的な稈色を有する叢生型である(写真1右)。



写真1 散生型キンメイモウソウ(左)と叢生型スホウチク(右)

バラ立ちに生育する竹種は横走る地下茎、すなわち単軸型地下茎(図1左)から成竹するため、植栽後新しい地下茎を伸ばして生育エリアを広げる性質を有する。しかし、株立ちに生育する竹種は稈の地下部にある大きな芽が生長して株状に成竹する連軸(仮軸)型地下茎であるため、生育地を広げる心配はない(図1右)。したがって、広がっては困る場所への植竹では株立ち型の竹種が選ばれるケースが一般的であるが、植栽場所が狭くても一定の広さに制限できる場合には散生型の竹種が選ばれる場合がある。

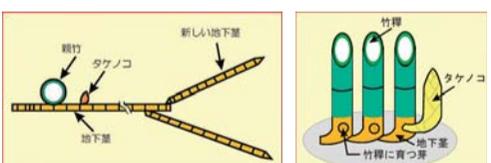


図1 単軸型地下茎(左)と連軸(仮軸)型地下茎(右)

そこで、それぞれのケースをご紹介したい。まず、岐阜県大垣市立S小学校のケースでは約30平方mの植栽地を施工してバラ立ち大径種のキンメイモウソウ3株を植栽し、地下茎の繁殖を一定の広さに制限できる条件を満たしたケースである(写真2)。また、京都府向日市立K小学校のケースでは、校庭の一部約100平方mが空地になっていて、その周囲が校舎や道路によって遮蔽された空間になっていたことから、バラ立ち中径種のクロチク3株を植栽したケースであり、このよう



写真2 キンメイモウソウ3株の植栽セレモニー(大垣市立S小学校)

な条件下での植栽では小さな竹林形成が期待できる。

しかし、一般には限られたスペースに植竹してほしいとの要望が多い。その第一の理由は植栽後の保育管理に困難が予想されるからである。そこで選ばれるのが亜熱帯性叢生型(株立ち型)の竹種である。たとえば、名古屋市立T中学校のケースでは竹の繁茂が数平方mに限られた狭いスペースであることから、株立ち型中径種のスホウチクが選ばれた(写真3)。しかし、京都市立I小学校のケースでは、校庭が広く、バラ立ち型大径種の植栽が可能であったが、豪快に大きな株立ちに育つスホウチクを希望された例である(写真4)。このように、教育現場における竹の植栽には種々の希望や条件があり、これらを配慮しながら竹種を選ぶ必要がある。



写真3 名古屋市立T中学校での株立ち型スホウチクの植栽(左:筆者、右:ボランティアの女性)



写真4 ホウライチクの大い株の植栽セレモニー(京都市立I小学校)

学校への植竹寄贈にあたり、原則として子ども達と一緒に竹苗を植える「植竹セレモニー」を行い(写真2、4)、また子ども達も出席した場で学校長に「植竹目録」を贈呈している(写真5)。加えて、可能な限り筆者が30分程度の「竹のおはなし」(写真6)をして、子ども達が学校教育のなかで竹植物に関心を持つよう努めているのが当会の「竹一株植えつけ運動」である。



写真5 講堂での「植竹目録」贈呈式(京都市立O小学校)



写真6 筆者の「竹のおはなし」状況(向日市立K小学校)

7. 【インターネット環境について】インターネットの環境について、該当する項目すべてにチェックをしてください。

詳細

スマートフォンを利用している	97
タブレットを利用している	39
パソコンを利用している	70
マイクやカメラが搭載されている	41
上記のどれも利用していない	0



8. 【インターネット環境について】リモート会議を行う場合のインターネット環境について、該当する項目を選択してください。

詳細

インターネット回線を利用できる	93
電話回線(3G、4G、LTE...)	8



9. 【インターネット環境について】リモートによる会議などを行ったことがありますか? 該当する項目を選択してください。

詳細

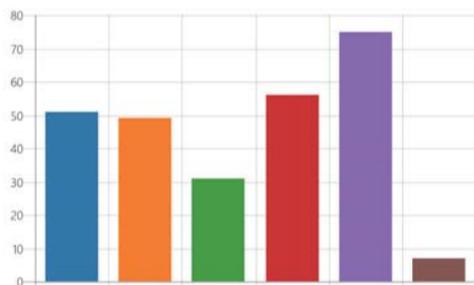
ある	68
ない	33



10. 【インターネット環境について】インターネットで利用しているものすべてにチェックをしてください。

詳細

Facebook	51
Instagram	49
Twitter	31
zoom	56
YouTube	75
どれも利用していない	7



以上のアンケート結果から、リモート会議が可能だと判断できます。

幹事会は例年12月東京、2月全国総会、4月東京、6月移動幹事会、7月支部長合同会議、10月東京にて行われており、この中で10月の第6回幹事会は、青年部通常総会について、青年部通常総会記念事業について、支部長合同会議報告、全国研修会報告、その他出向委員会からの報告と、報告事項が多いことから、各委員会が事前にリモートでの小会議及び、9月の夏季研修会の時に各委員会が打合せを行えば、リモート会議でも可能であります。

ただし、第6回幹事会で幹事が集まる必要がある時もあり、状況に応じて幹事会もしくは、リモート幹事会といたします。

合同会議では、以上のことから

- ・幹事の負担軽減
- ・会議費の軽減

につながるという意見が得られました。

支部長合同会議で、これに関して採決を取り、賛成多数をえられました。

よって来年以降、コロナウィルスが終息し、通常の生活に戻ったとしても年に1回程度幹事会をリモートにて開催することとなりました。

今回の合同会議を行ったうえで、以下の点に注意してリモート会議を行うことが望ましいことがわかりました。

- ・発言者以外の参加者はマイクをきる
- ・参加者は可能なかぎり、インターネット回線を利用する
- ・スマートフォンやタブレットにて参加する場合はマイク付きイヤホンを使用することが望ましい
- ・資料は事前にメール等で配布しておくことが望ましい、当日資料等のデータを送る際は、会議中チャット機能を利用し配信する
- ・質疑応答の際チャット機能で質問を募る
- ・人数の多い会議においては、四役と司会者は可能な限り同席する
- ・幹事会をリモートで行う場合、各委員会は事前に小会議を行う

青年部会では今後、業界について、緑育出前授業や研修会など協会の活動をFacebook等SNSで発信していきたいと考え、4月の幹事会から議論を重ねています。協会の活動を青年部会のFacebookに掲載し、Facebookをしている方に拡散してもらうことで、広く多くの人に協会を認知してもらえようと考えています。

また、協会のホームページでFacebookの投稿を見られるようにするなどホームページとのリンクも検討しています。ホームページは検索してもらえないと閲覧してもらえませんが、活動状況や緑化通信を載せても、見る人は少ないですが、SNS等を活用すれば、積極的に活動を配信できるようになります。

ここ数年、支部長合同会議の中で、会員数の減少が議題にあがっています。この情報の配信が行われるようになれば、協会の知名度の向上につながり、さらに活動内容を透明化することで協会に興味を持ってもらえれば、新規会員の入会につながると考えています。

インターネットを活用した運営、青年部活動の情報配信を行い、部会員の情報の共有、部会の充実にも努めるとともに、協会員以外の多くの人に協会の存在と活動内容を認知してもらえよう努めてまいります。

日本列島植木植物園
ナショナルプランツ コレクション*

清水洋樹 (株)清水植物園 (福井県) ☎0776-82-4138
HP: <https://yume-ki.com/>

タギョウショウ (多行松)

Pinus densiflora 'Umbraculifera'

常緑針葉樹 樹高 4.0m

アカマツの品種で幹が地際から分かれ、傘を開いたような樹形になる。大きくなると幹枝が多数に分かれて、幹の赤さがさらに映える美しい樹形になる。樹高を低く維持し低木として使うことも多い。もともと縁起が良い松類だが、幹枝の広がりが事業等の広がりをみせるようで縁起木としても好まれる。



庭木の常備薬として
公共の植栽管理に

近年問題となっている
ゴマダラカミキリに高い効果!



「かえて」に「ゴマダラカミキリ」が追加登録されました。「さかき」の「サカキブチヒメヨコバイ」が登録拡大されました。

樹木等の株元にそのまま散布するだけ。薬剤の飛散も無く生活環境に配慮した薬剤です。



TAISHIN SANGYO CO., LTD.
大信産業株式会社
緑化部 〒722-0212 広島県尾道市美ノ郷町本郷1-36
TEL (0848) 38-1193 FAX (0848) 20-5211
<http://www.taishinkk.co.jp>

殺虫成分は、樹から樹体内へ吸収されます。

育苗・育樹・緑化・造園資材なら何でもお任せ

自然とともに 優しさとともに

幹巻テープ・根巻布・麻縄・スリング・ポット・しゅろ縄・識別テープ・ラッシング



早瀬工業株式会社

TEL 0868-26-1166 FAX 0868-26-3991



*ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立つ事を目的としたコレクションです。

青年部会 『青年部会運営におけるインターネットの活用』

青年部会 総務委員長 植島春樹 (植島植木術・東京都)

昨年度はコロナウィルスの流行により、2月の総会以降の第3～5回幹事会はZoomを利用したリモート会議で行ってきました。また、例年7月に行われていた幹事・支部長合同会議も開催の目途がつかず、10月にリモートにて開催となりました。これを機会に、リモート会議の行い方の確立、今後の活用方法などを模索し、これからの青年部の運営に新しい方法の礎を構築したいと考えています。

また、来年以降の青年部会の運営において、インターネットの活用を強化していく必要があると感じています。リモート会議の有用性もそうですが、その他にもホームページの改定や、SNSを利用した情報の発信を行うことで、青年部会の情報の共有、各支部、各ブロックの動向等、離れた仲間の距離がより近くなり、青年部会の活性化、一体化につなげたいと考えています。

さらにSNSを利用することで、会員以外の人に協会の存在と活動内容を知ってもらうことで、協会全体の活性化にもつなげていきたいと思っています。

10月の幹事・支部長合同会議は、『青年部会運営におけるインターネットの活用』をテーマとし、初のリモート開催となりました。リモートの性質上、意見を出し合い議論することが困難なことから、全会員を対象とした事前アンケートを行い、それを基に議論を重ねました。

また、アンケートも例年FAXで行っていましたが、配布や回収の手間や、FAXで回収した意見は文字が読みづらい等の問題からMicrosoft Formsを利用しインターネットで回答を集めました。

【アンケート1】 協会の配布している手帳について

協会から青年部会の会員の手帳利用状況について調査依頼があり、アンケートにて回答して頂きました。アンケートは青年部会員135名中101名に回答頂きました。

1. 【協会の手帳について】 協会の手帳を利用していますか？

詳細

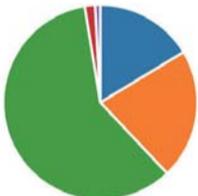
● 利用している	69
● 利用していない	32



2. 【協会の手帳について】 利用していると答えた方に伺います。

詳細

● 手帳として利用している	19
● メモ帳として利用している	25
● 会員名簿を利用している	69
● その他	2
● その他	1



3. その他を選択された方、手帳をどのように利用していますか？ 回答者1名 注文納期や日記として使用

4. 協会の手帳についてご要望があればご記入ください。 回答者17名
残してほしい、無駄だからいらないと思うと様々な意見が見られました。その中では、デザインを変えてほしいやサイズを変えてほしいなど見た目に関する要望が多くありました。

以上が手帳のアンケートです。

全体の7割が利用しており、その多くが会員名簿を利用していること。手帳として使用しているのは、手帳利用者の27%、使用していないと回答した会員を含めた全体では18%であることがわかりました。

【アンケート2】 植木協会ホームページの内容について

広報委員会から、青年部会にホームページの見直しや、新しい内容についてアイデアを求められました。ホームページの公開ページと、会員専用ページにおいて、どのような情報を載せてほしいか、手帳同様アンケートで意見を集めました。

5. 協会のホームページ(誰もが閲覧可能なページ)に掲載してほしい情報、または変更すべき点がありますか？ 回答者29名

- ・業界や仕事をもっとアピールすべき、木や緑のよさをアピールすべき
- ・木の紹介、365日の木はもっと大々的にすべきという内容があり、木に関する知識などを充実させるという意見が多く見られました。
- また、合同会議の中では、上記と同様の意見のほか、
- ・青年部会のFacebookのパナーを設置するなどSNSとホームページをリンクしスムーズな情報の配信が行えるようにする
- ・スマートフォン用のページがシンプルすぎて物足りない、スマートフォンで見ると見にくい世の中だから充実させるべき等、意見が交わされました。

6. 協会のホームページの会員専用ページに掲載してほしい情報、または変更すべき点がありますか？ 回答者29名

- ・各社園が何を生産し、在庫がどれだけあるか調べられると便利
- ・会員のプロフィールを掲載してほしい
- という内容が多く見られました、この2つの意見から各社園のデータをより詳細に掲載すべきであるといえます。

また、合同会議の中では、上記と同様の意見のほか、

- ・各社園のプロフィールを強化する中で、各社園のホームページやFacebook、Instagramなどのリンクを掲載することでホームページ内では賄いきれない情報にアクセスできるようにする
- ・プロフィールに顔写真などを任意で載せることで、あまり会うことのない会員同士の名前と顔が一致し、どのようなものを生産しているか知ることができれば、年に数回の会う機会に話がしやすくなり、より充実したコミュニティの形成につながる
- 等、意見が交わされました。

【今後の青年部会運営について】

コロナの影響で、本年度の幹事会は、Zoomを利用したリモート会議にて行ってきました。青年部会では、その実績をふまえ、コロナが終息した後も、年に1度、青年部幹事会をリモート会議で行いたいと考えています。

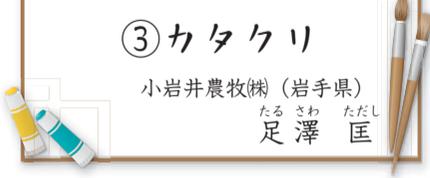
そのため、アンケートで会員の皆様のインターネット環境についても調査を行いました。以下、インターネット環境についてのアンケート結果

素描挿話。

～すてきな花達に魅せられて

③カタクリ

小岩井農牧(株) (岩手県)
たろ さわ ただし
足澤 匡



今回は、春の妖精(スプリングエフェメラル)の代表的な花の一つ、「カタクリ *Erythronium japonicum*」

漢字では「片栗」と書きますが、球根の形に由来します。こんなに綺麗な花なのに、球根の形から名前が付けられるなんて、ちょっと悲しい気がします。ところで、「かたくり粉」の原料は何かご存じでしょうか。昔は、ご想像通り「カタクリ」だったのですが、デンプンを抽出する精製技術の進歩から、現在では、「ジャガイモ」が主原料になっています。「かたくり粉」に限らず、「くず粉」なども、純粋なものを探すのが、だんだん難しくなってきました。

前回の「素描挿話。②」では、シクラメンのスケッチを紹介しましたが、花の形がどこことなく似ていますよね。花が下向きで、花弁がひっくり返って咲く。シクラメンはサクラソウ科、花弁は5枚に見えますが切れ込んでいるだけ、サクラソウと同様に、合弁花なので花弁は1枚です。カタクリは、ユリ科ですから、花被片6枚(外片3枚+内片3枚)なのです。

下向きに咲く花は、雨が直接当たらないという利点がありますが、ぶら下がって蜜を吸ったり、花粉を集める昆虫が上手く受粉を助けてくれる利点もあるのです。ちなみに、このカタクリのスケッチを描いている時、ヒメギフチョウが蜜を吸いに来ました。近くには、食草であるウスバサイシン(カンアオイ属)の株があり、葉の裏には、淡緑色をした真珠の様なヒメギフチョウの卵が並んでいました。岩手県のカタクリの自生地には、必ずと言っていいほど、ウスバサイシンが見られます。不思議ですね。

また、カタクリの種子には、「エライオソーム」という偉い?ものが付いていて、アリはそれを餌として、巣に運び、種子の散布を手伝っています。自然って、本当に不思議ですね。興味は尽きません。だから、楽しいです。



岩手県盛岡市数川岩洞湖にて (2001年5月6日)

日本列島植木植物園(取材編)

ナショナルプランツ コレクション*

くじき(仕立て)

近藤盛太郎 (有)小田原植木 ☎045-851-1805

くじきは、折るという意味で、木にとっては大手術。手拭いを絞るように幹を曲げる総合的な技術が必要。くじきの模様には地域性があり、小田原植木さんのくじきは、雪が積もったようにふっくらして優しさが感じられる。毎日自転車で通う89歳の高橋源一(通称:源(ゲン)さん)さんの指導のもとくじきを作っていて、源さんが来たら圃場に庭木が充実してきたそうです。

源さんより:「技術を伝授しているけど、今の若い人は覚えが早いです。くじきをするには、樹姿が柔らかくて樹勢が一番いい時期に仕立てなければいけません。1年のうち1ヵ月ぐらいしか仕立てる時期がない。接ぎ木で10年かかって大手術して、その傷もあるから5年は売れないし、チャボヒバだからすぐには大きくなりません」と優しい目でお話してくれました。…大事に大事に育てていることがよく分かりました。



左から近藤増男さん、高橋源一さん



*ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

お知らせ

コンテナ部会「桜ぱっと見ガイド」絶賛継続発売中

コンテナ部会ではミウラ折りシリーズ第2弾となる「桜ぱっと見ガイド」を絶賛継続発売中です。

「桜ぱっと見ガイド」は、厳選した桜50種類を樹形・花形・開花時期等の情報を交えて分かりやすく紹介しています。加えて、全国104ヵ所の桜名所も掲載。コンパクトに折りたためるミウラ折りの特徴を生かした「桜ぱっと見ガイド」を是非お手許に揃え、お花見の楽しさ・賑わいを再び取り戻しましょう。また、社園名を入れた販促ツールも受け付けておりますので、コンテナ部会事務局までご一報お願いいたします。

※価格は会員一冊400円、一般一冊500円でこれに消費税、送料が別途かかります。

※名入れの場合は版代、印刷費用が別途かかります。



経営基盤強化研修会のご案内

緑化業界を取り巻く事業環境が厳しい中、協会では会員社園の経営体質強化の一環として農業生産法人の設立について研修会を提案いたします。

研修会では農業生産法人の目的やメリット、設立の手順、義務・負担などをトータルで学び、精強な経営を目指し、このカオスの時代を生き抜く糧といたします。研修会は随時開催を予定しており、希望する会員(1人から何人でも応じます)、支部、ブロックがございましたら、協会事務局までご連絡下さい。

研修方法: 全国6ブロックで会場を設置し、講師が各地をキャラバン方式で回る形式を考えています。

時期: 令和3年2月より随時開催します
講師: 菅原 豊

費用: 講師謝金として1カ所につき50,000円(交通費含む)
内容: (1) 農業生産法人化の目的とメリット
(2) 農業生産法人の要件
(3) 設立の手順と事前準備
(4) 農業生産法人の義務と負担 他

大信産業(株)ダイリーグ粒剤広告付挿しラベルの使用者募集します

大信産業(株)では殺虫剤ダイリーグ粒剤が「かえで」のゴマダラカミキリに登録拡大しました。カミキリムシは様々な樹木で問題となっており、特にイロハモミジ等のカエデ類は若木でも被害が目立ちます。

今回の登録拡大を機にQRコード付挿しラベルを作成し、協会会員社園様に無償提供することとなりました。このラベルのQRコードを見ていただくとダイリーグについての説明とゴマダラカミキリ他の害虫の生態、防除時期がひと目でわかるようになっています。このラベルは表面が無地となっておりますので、協会



会員社園様におかれましては樹種名及び社園名を記入し出荷することができ、ラベル資材のコスト低減に寄与できると考えております。挿しラベルの送付期間は令和3年2月~3月を予定しております。この機会にぜひご使用を検討していただければと思います。

【希望会員様 申込先】

大信産業(株) 緑化部
TEL (0848) 38-1193 FAX (0848) 20-5211
企画担当 灰谷(連絡先 080-8247-9904)

◆申込方法

①申込者 ②送付先 郵便番号、住所、電話番号をご記入いただき、FAXで申し込みをお願いいたします。

100枚ずつ送付させていただきますが、期間内であれば何回でも受け付けます。

お詫びと訂正

大変申し訳ございませんでした。

緑化通信第483号12月号の「お知らせ」での訂正

▷訂正: (株)→(有)

(新) (有)岩井植木(千葉県) 代表者 岩井正宏

▷訂正: 住所

(新) 北日本管与(株)(秋田県)

〒013-0104 秋田県横手市

平鹿町樽見内字柄内318

会員動向

住所変更

▷川津園芸(福岡県)

(新) 福岡県久留米市山本町耳納37-1

▷ヨシダ印刷(株)(東京都)

(新) 東京都葛飾区奥戸4-23-7

訃報

▷秋元孝久 様(秋元重海氏のご尊父様)

(有)秋元重次農園(千葉県)

令和3年1月1日没 享年79歳

▷山本和臣 様(山本茂三氏のご尊父様)

(株)フタバ園(大阪府)

令和2年12月25日没 享年93歳

▷藤原 眞 様(田宮慎二氏のご尊父様)

(有)田宮園芸(鳥取県)

令和3年1月12日没 享年63歳